

重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）への登録のお知らせ

当社にて管理保管しております「分銅式標準圧力計」が、独立行政法人国立科学博物館の重要科学技術史資料（未来技術遺産）に登録されましたのでお知らせ致します。

尚、当社が所有する資料が重要科学技術史資料に登録されるのは、平成 23 年度の「金敷と金槌」及び「3 本ローラー式ブルドン管成形機」の登録について 2 回目（3 点目）です。

【登録内容】

国産圧力計の発展と標準化に寄与した圧力検定試験器

登録番号：第 00215 号

登録年月日：平成 28 年 9 月 13 日

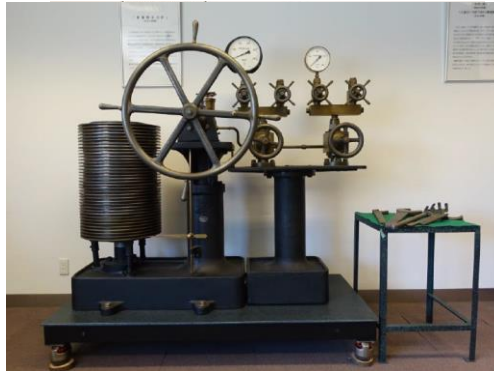
名 称：分銅式標準圧力計

製 作 者：株式会社東京計器製作所（現・東京計器株式会社、長野計器株式会社）

製 作 年：1924 年

選 定 理 由：1911（明治 44）年に特許を取得した和田式圧力計試験器の高圧領域型と考えられ、同様の試験器が全国の官庁、会社、学校、実験所等で使用された。本器は、当時、計量法の改正や標準規格（JES）に合わせて、メートル法による 2000kgf/cm²の高圧圧力計の検定用、試験用として、1924（大正 13）年に中央度量衡検定所（現：産業総合研究所）福岡支所に納入されたもので、国産圧力計の発展とその標準化に大きく寄与した。

写 真：



ご参考：重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）とは

国立科学博物館では、「科学技術の発達史上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つ科学技術史資料」及び「国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えた科学技術史資料」の保存と活用を図り、科学技術を担ってきた先人たちの経験を次世代に継承していくことを目的として、重要科学技術史資料の登録制度を平成 20 年度より実施しており、本年度は新たに 16 件の資料が登録され、計 225 件となりました。

「重要科学技術史資料」登録証及び記念盾授与式の様子



記念盾と登録証

